



思い出に残る運動会に！

暦の上では、「秋分（23日）」を過ぎました。朝夕めっきりと涼しくなり、日中の暑さの中でさえ、心地よい秋風（金風）を感じるこの頃となりました。

運動会を間近に控え、子どもたちは「**輝き☆**」を放ちながら、精一杯練習に励んでいます。もちろん、コロナ対策と熱中症対策を両立しながら、短時間で効率のよい練習に汗を流しています。

今年の運動会も、昨年に引き続き、コロナ禍での開催となります。このような状況下での運動会は、今年で早3回目。半日開催の上に、「密」になりにくい種目の実施となるため、保護者の皆さんが子どもの頃に



経験した運動会とは大きく違う形（「学校の新しい運動会様式」）となっています。「また半日か・・・」「種目が・・・」とネガティブになってしまう気持ちもあるでしょうが、それではせっかくの運動会が台無しです。前向きな気持ちを高めるためにも、「コロナ禍で何ができるのか。どうすればいいのか。どう楽しむのか。」と、今できる最大限の可能性を考えることが大切です。幸い、これまでの2年間の経験と知識があります。「今年の運動会も貴重だ！これからに必ず活かせる！」とポジティブに考え、児童・保護者・教職員が一体となり、北小運動会を創り上げていきたいものです。

～ していどうきょう 師弟同行 ～

全校で取り組む運動会は、一人ひとりの力を結集し、皆で創り上げていく醍醐味があります。とかく当日の成果や結果に目が向きがちですが、それまでの**取組過程にこそ教育的な価値**があると、我々は考えています。「身体を動かす（使う）体験」「集団活動から得られるルール・マナー・協調性」「自己の役割を果たす責任感・自己有用感」「成し遂げる達成感・成功体験」等々、ふだんの授業だけでは得られない、たくさんのものでることが出来ます。同時に、「行動力」「発想力」「表現力」といった、一人ひとりの**「輝き☆」**もみつけることが出来ます。演技や係の成功のために、自ら行動する子、自分の発想を活かす子、質の高い表現をする子…、この子にはこんな一面があったのかと**新たな発見**ができるのも運動会ならではの事です。

思い切り挑戦し、**自分の記憶と家族の記憶**に残る、思い出深い運動会になることを切に願っています。

.....

～特別日課のひとこま～



運動会を成功させるために、子どもたち同様、先生たちも精一杯取り組んでいます。その一つが、表現への取組です。夏休み初めから構想を練り、熟慮を重ねて準備を整えます。2学期が始まると、短期間・短時間による効率の良い取組を実施していくため、**自ら率先して**動きを見せます。（これが実に見事！）コツをつかんだ動きを、子どもたちに分かりやすく示し、さすが！と思わせる動きが随所に見られます。

右梓は、昔からよく言われる格言です。まさに先生たちは、この言葉を体現しています。子どもたちとともに歩み、師弟同行を実践している北小教職員です。

やってみせ
言ってみせて
させてみて
誉めてやらねば
人は動かじ

